

唐津市立高島小学校学校だより

た か し ま



令和2年 7月17日

No.11 校長 中村 尚志

本校の教育目標 「学ぶ楽しさの追求」

めざす学校像【子供も職員も学ぶ楽しさを実感する学校】

夏本番に向けて!!～これまでとは違う注意を～

セミの鳴き声が、夏の訪れを感じさせます。昨日、今日と久しぶりに青空を見上げることができ、さわやかな気持ちで過ごすことができました。しかし、「セミが鳴けば梅雨明け」と言われている通り、本当に雨の季節は終わるのか心配しています。また、今回の大雨で被災された方々のことを思うと、少しでも早い復興を願わずにはられません。

これから夏本番を迎えることとなりますが、一方でコロナ感染拡大の第二波が広がっています。そうした中、子供たちにこれまでとは違う注意の払い方、行動の仕方を指導しながら夏本番を迎えたいと考えています。

1 マスクを付ける時、外す時



子供たちも職員も船を利用します。外出自粛が解除されて、高島を訪れる観光客が少しずつ増えてきていますので、船の中や人込みの中ではマスクをきちんと付けることを促します。逆に、高い気温の中でのマスクの着用は、熱中症を引き起こすことにつながります。屋外での活動、室内であっても密でない状況であれば、マスクを外すことを促します。

2 油断することなく“三密”を避ける、“三密”をつくらない



地球温暖化の影響でしょうか、毎年、日本の夏は暑くなっています。日々の生活でクーラーは欠かせないのですが、クーラーをつけている部屋は密状態になりますので、窓を開けて換気をする必要があります。また、外出自粛解除後、人の動きが活発になり、映画館や飲食店など、いろいろな場所にたくさんの人が集まるようになりました。油断することなく、これからも“三密”状態かどうかを考えて行動するように促します。

3 まめに水分を補給する習慣



熱中症にならないように水分補給の指導は毎年行っています。しかし、マスクをしていると喉の渇きがあまり感じられなくなると言われていますので、これまで以上にこまめに水分を補給する意識をもたなければなりません。学校では、体育の時間であれば15分おきに水分補給の時間をとっています。喉が渇く前のこまめな水分補給の習慣を身に付けさせたいと考えています。

※ それぞれのご家庭でもお声かけいただきますようよろしくお願いいたします。

—夏休みが短くなっています—

7/31(金) 1学期の終業式(終業式の日まで給食があります。)

8/1(土)～8/17(月) 夏休み(夏休み中の登校日はありません。)

8/18(火) 2学期の始業式(始業式の日から給食があります。)

